

低背配索部材(バスバー)

開発中
2028年搭載予定

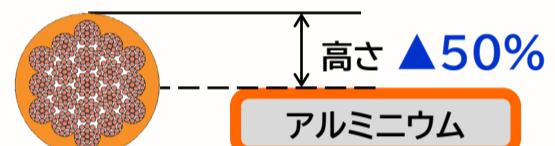
電動車の航続距離延伸、
車室空間・車両デザイン性の拡大に貢献する低背配索製品

背景・課題

大電流化による車載部品の大型化に伴い、狭小スペースに配索可能な製品が必要となる

課題への解決・特徴

① 電線をバスバ化することで、約50%の低背化が可能

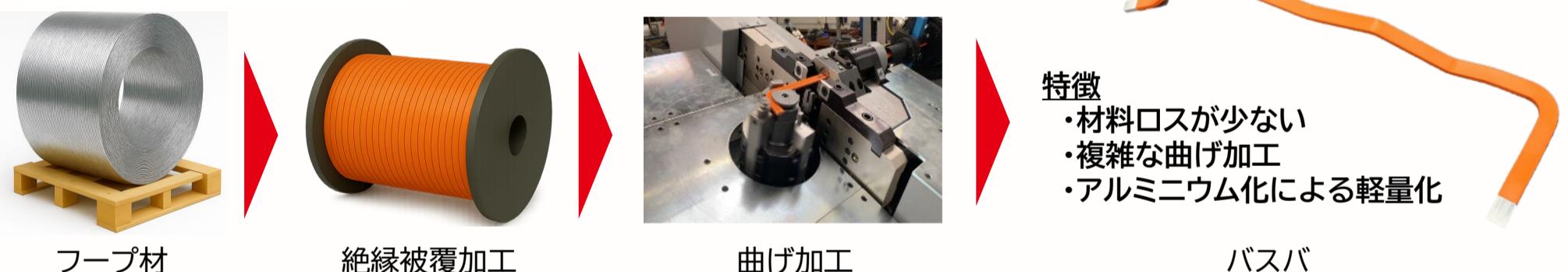


② フープ材～製品まで一貫生産かつ曲げ加工によるプレス打抜き口スの削減

③ 導体のアルミニウム化による軽量化の追求(効果:銅電線比較 約35%低減)

④ 局所曲げ加工や高柔軟低背電線を用いることで配索設計の自由度を向上

【一貫生産】



【配索設計自由度の向上】



特徴
・可撓性のある低背配索部材
・組付け公差や車両振動等の変位を吸収
・バスバーと組合せて使用可能

バスバーの設計 / 接続 / 製造までを矢崎がトータルサポートいたします